鎌倉の埋蔵文化財20

Buried Cultural Properties in Kamakura 20

平成27年度発掘調査の概要



平成29年(2017)3月 鎌倉市教育委員会

~ごあいさつ~

私たちが暮らす鎌倉市は、源頼朝が武家政治を創始した地として知られ、中世に栄えた都市の跡をはじめとして、過去の人々の様々な生活の痕跡が地下に埋蔵文化財として数多く残されています。

これらの埋蔵文化財は、家屋の建築や、開発事業などさまざまな土木工事により失われて しまうことも少なくありません。これは、鎌倉の貴重な歴史遺産が失われることでもあり、 非常に残念ではありますが、現代に生きる私たちが生活を営んでいく上では避けられないこ とでもあります。

このようにやむを得ず失われることとなる歴史遺産も、発掘調査を実施し、その調査成果 と記録を着実に積み重ねて検証していくことで、鎌倉の歩んできた歴史の解明につながって いきます。

鎌倉市教育委員会では、発掘調査関係者のご協力を得ながら、この『鎌倉の埋蔵文化財』の発行をはじめ、遺跡調査速報展や鎌倉駅地下道ギャラリーでのパネル展、遺跡調査・研究発表会の開催などを通じて発掘調査の成果を広くご紹介しています。

このたび発行いたします『鎌倉の埋蔵文化財20』では、平成27年度に実施した発掘調査の中から、5つの調査地点の概要をご紹介いたします。

これからも、さまざまなかたちで発掘調査の成果をご紹介するよう努めてまいりたいと考えております。今後とも、文化財保護に対するご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成29年(2017) 3 月 鎌倉市教育委員会

~目 次~

1	宝積寺跡・天神山下城	(山崎字富士塚794番ほか地点)	1
2	桑ヶ谷療病院跡	(長谷三丁目592番 5 ほか地点)	4
3	若宮大路周辺遺跡群	(小町一丁目329番1ほか地点)	6
4	政所跡	(雪ノ下三丁目977番 1 ほか地点)	8
5	積善遺跡	(十二所字積善944番 1 ほか地点)	10
	英文要旨		12

~例 言~

- ◎本書は平成27年度に市内で実施した主な遺跡の発掘調査の概要を掲載しました。
- ◎本書は鎌倉市教育委員会文化財課が執筆・編集しました。
- ◎本書の作成にあたり、次の方々のご協力をいただきました。深く感謝いたします。(遺跡掲載順・敬称略) 社会福祉法人桜栄福祉会、宗教法人浄光明寺、境雅仁(武相文化財研究所)、株式会社ベルテックス、 齋木秀雄(鎌倉遺跡調査会)、宮田眞(株式会社博通)、滝澤晶子(株式会社博通)、個人住宅の建築主の皆様

《表紙写真》 宝積寺跡・天神山下城(山崎字富士塚794番ほか地点)

◎表紙題字は松尾右翠氏にお願いしました。

1. 宝積寺跡・天神山下城(山崎字富士塚794番ほか地点)

Hoshaku-ji Temple Site Tenjinyamashimojo Site

山上の古代集落

調査地点はJR大船駅から南南西に約1.8kmの場 所に位置します。ここでは弥生時代から平安時代の 住居跡、中世の墓域などがみつかりました。当該地 は南東に低くなる斜面地で日当たりもよく居住に適 していたようです。調査範囲の最も標高が高い地点 から「瓦塔」と呼ばれる平安時代の土器で作られた塔 (五重塔か)の破片がみつかりました。神奈川県内で も出土例が非常に少なく、まとまった状態で発見さ れた事例はほとんどありません。鎌倉市内では初め ての出土です。

調査地の西側の谷戸は、円覚寺黄梅院の有力な末 寺であった宝積寺の跡とされ、谷戸をとりまく尾根 上には寺域を区切る施設と考えられる土塁が残され ています。今回の調査では、寺院そのものの遺構は



写真1 出土した瓦塔片 (photo1) Discovered fragments of Gato

確認されませんでしたが、五輪塔が多数出土したことから、宗教的な施設が作られるような 場所であったことがうかがえます。

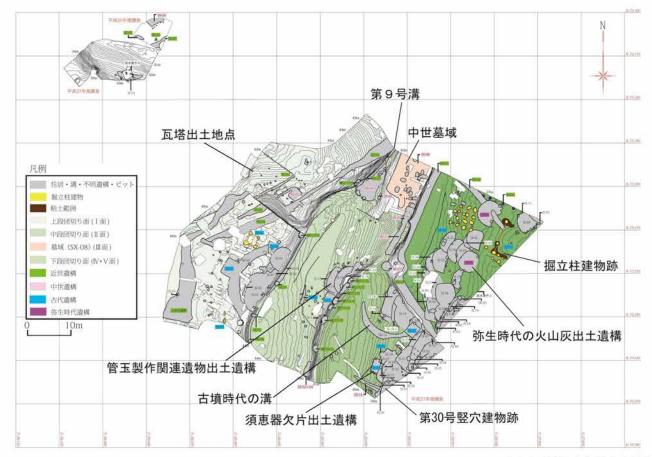


図1 発見された主な遺構 (fig1) Discovered main site



写真 2 弥生~平安時代の竪穴住居跡 (photo2) The site of settlement from the Yayoi Period to the Heian Period



写真 3 斜面を平らにならして造られた区画で出土した五輪塔 (photo3) Gorinto discovered in the developed land



写真 4 発掘調査で出土した五輪塔 (photo4) Excavated anciant remains of Gorinto

五輪塔は空風輪17点、火輪6点、水輪4点、 地輪8点が出土しました。空風輪の数が最も多 く、他の部位との数が合いませんが、少なくとも 17基の五輪塔が並んでいたと想定されます。

出土した五輪塔は水輪と地輪が押し潰されたような形で、風輪が上下に伸びるような形を呈しており、全体の比率は塔の上部に偏っています。

鎌倉時代の関東様式の典型例の一つとされる浄 光明寺五輪塔と比較するとその形の違いがはっき りとみてとれます。

浄光明寺五輪塔のような形はより古いもので、 今回みつかった五輪塔は小型化し大量に作られた、 中世の中でも比較的新しいものと考えられます。

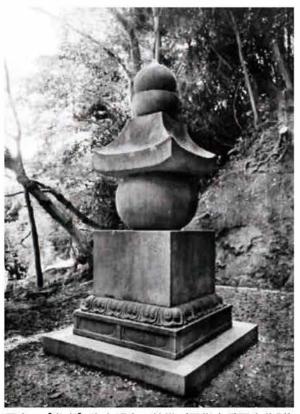


写真5【参考】浄光明寺五輪塔(国指定重要文化財) 制作年代 1306(嘉元四)年頃(『重要文化財浄光明 寺五輪塔修理工事報告書』1976 より転載) (Photo5) Jokomyo-ji temple's Gorinto, made in 1308

(National Cultual Properties)

2. 桑ヶ谷療病院跡(長谷三丁目592番5ほか地点)

Kuwagayatsu Ryobyoin Site

中世に行われた土地の造成

調査地点は江ノ島電鉄長谷駅から北に約400m の場所に位置します。ここでは13世紀~16世紀 までの建物跡や井戸、柱穴、雛壇状に造成された 平場、石垣状遺構がみつかりました。

桑ヶ谷は極楽寺の開山である忍性が弘安10年 (1287)に病人のための療病所を設けた場所とされています。今回の調査で同じ時代の柱穴や井戸が確認されましたが、それらが療病所そのものにあたるかどうかはわかりませんでした。

また、住居跡などは発見されませんでしたが、 流路から古墳時代の須恵器の坏蓋や縄文時代早期 の土器の破片などがみつかりました。縄文時代か らこの谷戸が利用されていたと考えられ、谷戸の 陸化を考える上で重要な資料です。



図2 遺構配置図 (fig2) Remain layout



写真 6 石垣状遺構と造成面 (photo6) A stone wall streture & a manufactured ground



写真 7 土層断面(中世造成跡) (photo7) A sectional plan of soil stratum (a medieval cross section)



写真 8 井戸 (photo8) A well

3. 若宮大路周辺遺跡群(小町一丁目329番1ほか地点)

Wakamiya-Oji-Shuhen-Isekigun Site

200年にわたって使われた道路

調査地点はJR鎌倉駅から東に300mの地点に位置します。ここでは13世紀~15世紀までの約200年にわたって使われた東西方向の道路がみつかりました。幅約6mの路面は石によってしっかりと舗装されており、7時期の造り替えが確認できました。過去、東側隣接地の調査では旧小町大路と推定される南北方向の道路がみつかっています。今回みつかった道路は、規模や位置関係からこの旧小町大路と若宮大路とを結ぶ道路と考えられます。発見された遺構は道路とそれに伴う溝だけでしたが、過去に近隣で行われた発掘調査の成果からこの道路の南北一帯には多くの竪穴建物が並んでいたことがわかっています。



写真 9 調査区全景 15世紀(上が北) (Photo9) Excavation scene 15th century (the north is above)

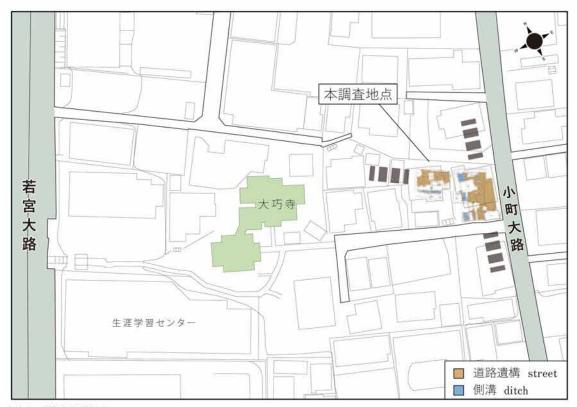


図3 道路配置図

(fig3) Street remain layout



写真 10 $13\sim14$ 世紀の道路跡(泥岩塊を敷いた路面と貝がらまじりの砂を敷いた路面) (photo10) Remains of a street (a paved road with mudstone mass and mixture of shell and sand) 13th-14th century



写真 11 調査区全景 $13\sim14$ 世紀 (photo11) Excavation scene 13th-14th century

Mandokoro Site

大規模な火災の跡

調査地点は鶴岡八幡宮境内の東隣に位置し、 13世紀~14世紀の井戸や溝、建物跡がみつ かりました。当該地は政所と呼ばれる、鎌倉 幕府の行財政および所領に関わる裁判をつか さどった機関が所在していた場所と考えられ ています。

今回みつかった建物は掘立柱で造られ、す ぐ近くに井戸がみつかっていることなどから、 政所の中心ではなく厨などの裏手にあたる建 物であったと推測されます。

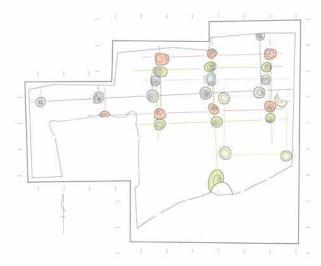


図4 遺構配置図 (fig4) Remain layout

また、最も古い生活面上には、大量の炭化物が調査区一面に層を成すほど厚く堆積していました。その層中から出土した遺物から、13世紀前半に起こった火災の痕跡と考えられます。「吾妻鏡」には、承久元年(1219)、延応二年(1240)、寛元二年(1244)、弘長三年(1261)、元弘三年(1331)の計5度の火災が政所であったと記されており、このいずれかの火災に関連するものと考えられます。

※厨:食物などを調理する場所で、今の台所にあたる施設。



写真 12 調査区全景(上空から撮影)(上が北)

(photo12) Excavated scene (aerial photo, the north is above)



写真 13 土層断面(黒い帯状の部分が炭化物層) (photo13) A sectional plan of soil stratum (a strip of black is a carbide stratum)



写真 14 井戸(上が北)東西 3m×南北 2.5m 13 世紀末~ 14 世紀初頭 (photo14) A well

Shakuzen-Iseki Site

区画を変えて造り続ける建物

調査地点は積善の谷戸の入り口に位置します。今回の調査では13世紀から15世紀までの井戸や火災の跡、玉砂利敷き、溝などがみつかり黄釉鉄絵盤や瀬戸製品が出土しています。この遺跡では頻繁に溝が掘られ、土地の区画が時期によって大きく変わった様子がうかがえます。

黄釉鉄絵盤:中国南方の福建 省泉州にある泉州窯で製作さ れた皿形の大型の器。黄色の 釉薬の上に鉄釉で植物を描い たと思われる。(13世紀)

瀬戸製品:溝の中から古瀬戸製品が出土している。浅碗、平碗などの碗類や、柄付片口、広口壺の蓋などがみられる。古瀬戸後期(14~15世紀)のものが多い。



写真 15 黄釉鉄絵盤 写真 (Photo15) Iron glazed yellow plate (Pho

写真 16 瀬戸製品 (Photo16) Crockery



写真 17 調査区全景(上が南)13世紀~14世紀 (photo17) Excavation scene 13th -14th century (the south is above)



写真 18 溝から出土したかわらけ (photo18) Discovered Kawarakes (disposal small plates) from the ditch



写真 19 井戸 (photo19) A well

Buried Cultural Properties in Kamakura 20

1. Hoshaku-ji Temple Site · Tenjinyamashimojo Site (Yamasaki Aza-Fujizuka 794)

Ancient village on the hill

The excavated point is located to 1.8km the south-southeast from JR Ofuna Station. We have found residence site of Yayoi Period to Heian Period and medieval graves in this remain. The site seems to be suitable for the settlement, because there must be sunny and it sloped towards the southeast of the hill. We have discovered fragments of "Gato", earthenware pagoda of Heian period, in the highest point of the excavation site. It is very rare case to discover Gato in the Kanagawa prefecture, and it has been first time to find Gato in Kamakura-city.

Also from excavated parts of Gorinto (five-storied stone pagoda), there were at least seventeen Gorintoes and we could see that there were religious facilities. These small pagodas are thought to have been mass-produced in the early Middle Ages. The shape of these pagodas is completely different from the shape of the Gorinto of Jokomyo-ji temple which has typical style of Kanto district in Kamakura Period.

2. Kuwagayatsu Ryobyoin Site (Hase 3-592-5)

Land development in the Middle Ages

The excavated point is located to 400m the north from Hase station of Enoshima Electric Railway Line. We have discovered a site of building, a well, pole pits, a level the ground, the remnants of an old stone wall of 13th -16th century.

It seems that The monk Ninsho established a hospital for invalids in Kuwagayatsu in 1287. As a result of this investigation, we could confirm the excavated relics in the around were same ages, but not make sure whether the relics were hospital site's one. Also there was not residence site though, but we have discovered earthenwares of the Kofun Period and the Jomon Period. It suggest that people would have used this valley for making a living in the Jomon Period, so the valley means that it has been already the land there at this ages. In other word, it has not already been the sea. This is very valuable data for us.

3. Wakamiya-Oji-Shuhen-Isekigun Site (Komachi 1-329-1)

A street used for 200 years

The excavated point is located to 300m the east from JR Kamakura Station. We have discovered a street which runs east and west has been used for 2 century in the 13th -15th century. We have confirmed that the stone paved street had 6 m width and it had been repaired 7 times. In the past investigations, we have already found the street estimated Komachi-Oji runs south and north. We have considered that this newly discovered street tied with Komachi-Oji and Wakamiya-Oji. Although the only discovery this time was the street and the ditches, we learned that many buildings were lined up in the north and south of this road from the past excavation in the neighborhood.

4. Mandokoro Site (Yukinoshita 3-977-1)

A site of huge fire

The excavated point is located to the east near a precinct of Tsurugaoka-Hachimangu shrine. It has been found a well, ditches, remains of buildings in the 13th -14th century. We could see that the place called "Mandokoro" was an ancient government office of Kamakura shogunate. The excavated buildings were near the well, so we suppose that they were not center of Mandokoro, they were a sort of kitchen. On the surface of relics, a large amount of carbide accumulated. From the excavated relics in the carbide stratum, the buildings were destroyed by fires in the first half of the 13th century. According to Azuma Kagami (historical chronicle of the Middle Ages), there were five fires at the buildings. in 1219, 1240, 1244, 1261 and 1331. The ruins are considered to be related to one of these fires.

5. Shakuzen-Iseki Site (Juniso Aza-Shakuzen 944-1)

Continuation of land compartmentation changes

Excavated point is located to an entrance of Shakuzen valley. We have discovered a well, remains of fire, gravel roads and ditches. In this site, ancient people dug ditches frequently, so we could see that the land compartmentation changed very much.

Iron glazed yellow plate

The large plate made in Quanzhou, Fujian Province in southern China. It was drawn plants by iron glaze on the painted yellow glaze. (13th century)

Crockery

Old crockery made in present Seto City, Aichi Prefecture has been excavated. Bowls, lids of jars were excavated from ditches. Many of these wares are late Koseto style. (14th-15th century)



写真 20 宝積寺跡・天神山下城 出土土器(士師器) (Photo20) Hoshakuji site, Tenjinyamashimojo site, discovered earthenwares

本書掲載の調査地点



《掲載遺跡名称及び所在地一覧》

1. 宝積寺跡・天神山下城 (山崎字富士塚 794 番ほか地点)

2. 桑ヶ谷療病院跡 (長谷三丁目 592 番 5 ほか地点)

3. 若宮大路周辺遺跡群 (小町一丁目 329 番 1 ほか地点)

4. 政所跡 (雪ノ下三丁目 977 番 1 ほか地点)

5. 積善遺跡 (十二所字積善 944 番 1 ほか地点)

鎌倉の埋蔵文化財 20

発 行 日 平成29年(2017)3月31日

編集·発行 鎌倉市教育委員会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

TEL: 0467 (61) 3857 FAX: 0467 (23) 1085 E-mail: bunkazai@city.kamakura.kanagawa.jp

印 刷 株式会社ポートサイド印刷